

## 子どもたちが病院の仕事を体験 和歌山 橋本

08月24日 16時53分

子どもたちに医療について関心を持ってもらおうと、医師などの仕事を体験できる催しが、和歌山県橋本市で開かれました。

橋本市にある病院が開いた催しには、地元の子どもや保護者などおよそ600人が参加しました。

青い手術着に身を包んだ子どもたちは、医師の指導を受けながら、手術で使われる電気メスで鶏肉を切ったり、傷口に見立てたスポンジの切れ目を針と糸で縫い合わせたりして、医師の仕事を体験しました。

また、超音波検査のコーナーでは、心臓や肝臓などを見るために使うものだと説明を受け、実際に機械を操作していました。子どもたちは看護師の制服を着たり、聴診器を使ったりして、楽しみながら医療について学んでいました。

きょうだいで参加した小学5年生の姉は「実際に使っている手術室やメスを初めて見ました。病院でやっていることを知ることができてよかったです」と話していました。

また、2年生の弟は「見たことのないものがたくさんあって、体験も楽しかったです」と話していました。

催しを開いた紀和病院の梅村定司 医師は「催しを通じて医療に興味を持ってもらい、将来、地域医療に子どもたちが関わってもらえればありがたいです」と話していました。

